

第36回ヨーロッパキリスト者の集い
解放された者として生きるー東欧解放30周年に、ルーマニアでー

主催：フランクフルト日本語福音キリスト教会
 トランシルバニア日本語集会
実行委員長：軍司芳宏（フランクフルト）
宣教師：川井勝太郎（トランシルバニア）
 牧師：矢吹博（フランクフルト）
 メール：tsudoi19@gmail.com
緊急連絡先：+40(0) 744 393 194（川井）

2019年7月25-28日
ルーマニア、クルージュ・ナポカ市 ホテルグランドナポカ



主の祈り

天にまします我らの父よ
ねがわくは 御名^{み な}をあがめさせたまえ
御国^{みくに}を来たらせたまえ
御心^{みこころ}の天になるごとく
地にもなさせたまえ
我らの日用^{かて}の糧を 今日も与えたまえ
我らに罪をおかす者を 我らがゆるすごとく
我らの罪をもゆるしたまえ
我らをこころみにあわせず
悪より救いいだしたまえ
国と力と栄えとは
限りなくなんじの物のなればなり
アーメン

使徒信条

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。
主は聖霊によりてやどり、処女^{おとめ}マリヤより生れ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、
死にて葬^{よ み}られ、陰府にくだり、三日目に死人のうちよりよみがえり、
天に昇り、全能の父なる神の右に座したまえり。
かしこより来たりて生ける者と死にたる者とを審^{さば}きたまわん。
我は聖霊を信ず。
聖なる公同^{ゆる}の教会、聖徒の交わり、罪の赦し、
身体^{からだ}のよみがえり、とこしえのいのちを信ず。

十字架

十字架の場面は、他のステンドグラスの中心であるだけでなく、聖書全体の中心的テーマ、救済の業が示されている。ここからすべてのテーマが繋がっていく。この右側には初代教会の歴史的過程が、左に旧約、新約聖書の内容が描かれる。

視線はエルサレム城壁前のゴルゴダ丘上の十字架に向けられる。処刑用の三つの十字架、中央にイエス。その左右に二人の強盗が架けられた。

ゴルゴダは決断の場だ。右側の強盗はイエスを受け入れ、神の新世界へ入って行った。左側の強盗は、神をののしり、受け入れようとはしなかった。イエスを受け入れた一人の十字架は柱が下から上まで通っている。もう一人のイエスを拒んだ人の十字架の柱は、水平線状の柱が垂直線を遮って天に伸びる線が翳^{かげ}ざされている。

同様に杖を持つ旅人が描かれている。左の人物は背を向け、右の人物は画面中心の十字架のイエスを仰いでいる。私たちも思いを私たちの旅に馳せてイエスに出会うことができる。私たちは、背を向け旅を続けるか、彼を見上げ留まるか。

中央の十字架の下に魚の形が見える。イエス自らの引用がある（マタイの福音書12章40節）。彼自身ヨナのように三日三晩魚の腹の中にあったように、復活前に自ら三日三晩地の中にあった。このたとえはしるしを要求する信仰に背く人々に対するただ一つの返答だった。信じる人々にとってはこの魚は、復活の希望として捉えられた。

イエスの死は終わりではない。私たちはイエスの十字架の背後にある神の救済を見る。神の開かれた門。ここで開かれたエルサレム城門は、「至聖所を隔てる幕が裂かれたことをあらわし、」イエスの死に際してすでに神の栄光が垣間みられる。神に直接出会うことが、彼の死によって実現された。十字架上の円は三原色を象徴している。黄、赤、青と三位一体を象徴する。この三原色の光が一体となる時、白色光になる。ここでは神がすべての源であるように、すべての色が含まれている。父なる神、子なる神、そして神の霊（聖霊）。この完全なる結合は、イエスの死に至って引き裂かれた。

神自ら、自分の子を与えた。しかしこれは、新しいことへの始まりにすぎなかった。復活の朝に再び完全な結合が成し遂げられた。そしてイエスを信じる人々が神に直接向かい合えるようになった。十字架上の輝き昇る日は、私たち復活の時代に輝いている。神はすべてを創造された。この光の中心からすべての放射線が放たれていると共に、すべての源がここにある。神自ら自分の子の死と、復活を通じて私たちのための救いを成し遂げた。

表紙絵：渡邊 富士男（フランクフルト日本語福音キリスト教会）

*Evangelish- Freikirchlichen- Gemeinde in Gießen のステンドグラスの一部

第36回ヨーロッパキリスト者の集い

テーマ：解放された者として生きる ～東欧解放30年に、ルーマニアで～

兄弟たち。あなたがたは自由を与えられるために召されたのです。
ただ、その自由を肉の働く機会としないで、
愛をもって互いに仕え合いなさい。

ガラテヤ人への手紙 5 章13節（聖書新改訳2017）

You, my brothers, were called to be free. But do not use your freedom
to indulge the sinful nature; rather, serve one another in love.

Galater 5,13(NIV)

第36回ヨーロッパキリスト者の集いへようこそ。

今回は革命30周年になる東欧ルーマニア、美しい トランシルバニア地方の中心都市クルージュ・ナポカで本大会を開催できる恵みを心から感謝します。

思えば30年前まで2つの政治的思想で隔てられ分断されていた欧州が、欧州共同体の名の下に一つになって数年が経ちました。東欧では言論や思想が制限されていた時代も遥か過去のこととして忘れ去られようとしている今、自由も解放も慣れ切ってしまった私たちに、忘れてはならない大切なものがあることをもう一度思い出し、心に留める集会にしたいと、「解放された者として生きる」という今回のテーマが導き出されてきました。

30年で変わってしまう世論情勢とは異なり、二千年の間変わることなく語りかけられてきた主の福音の本質は、十字架による解放にあります。今大会が、その大切な恵みに目を向け、もう一度忘れてはならないものを認識する機会となりますよう、心から願って止みません。

革命後の、何もないこの街にやって来た最初の日本人居住者として、今もこの街に働いておられる主の素晴らしい御業を、この集いで共に仰ぎ見ていきたいと思います。 感謝と祈りを込めて。

川井 勝太郎

ご案内

ホテルについて

- ・受付、ロビー、主会場FORUM、託児室はP階（ロビー階）です。
- ・食事会場ROMA、T&Y会場、CS会場はM階（中二階）です。
→26-27ページの地図でご確認ください。
- ・集い本大会期間中の前後に同ホテルに宿泊される方は、前後泊分の宿泊費について、ホテルご利用の最終日にホテルのカウンターで精算をお願いします。
- ・ホテルの水道水は飲用できます。
- ・Wi-Fiはホテル内で使用できます。
- ・ホテルでは両替は行っていません。フロントにあるATMを使用されると、レイで引き出すことができます。また、市内各所に両替所があります。

commission Q の表示を確かめたくうえで、ご利用ください。

[13ページの市街地図にある両替所の営業時間]

E1：9:00-18:00

E2：月～金 9:00-17:00、土 9:00-13:00

E3: 月～土 9:00-17:00

集会について

- ・各集会の5分前には会場にお集まりください。椅子は人数分しか用意しておりませんので、前から順におかけください。

スモールグループについて

- ・26日(金)午前の「証言と講演1」と同日夜の「講演」の後に、スモールグループによる分かち合いの時間を設けています。グループ数は、日本語17、英語1、ドイツ語1です。
- ・日本語のグループは主会場の中で、英語は主会場の入り口前、ドイツ語はロビーのソファで行ってください。受付でお渡しした「名札」右下のアルファベットがご自分のスモールグループです。場所は、ページの「ホテルP階（ロビー階）見取り図」でご確認ください。

自由時間について

・26日(金)、27日(土)13時15分から18時までは自由時間です。両日とも、ご希望の方を「市内散策」にお連れします。おいでになりたい方は13時30分にP階(ロビー階)入口付近にお集まりください。

およそ1時間半で見どころをご案内し、日本文化紹介イベントを開催しているトゥルヌ・クロイトリ口で解散します。解散後は各自でホテルまでお戻りください。その際、受付でお渡しした地図をご活用ください。

・26日(金)、27日(土)には、近郊のトゥルダにある岩塩坑へのツアーがあります。このツアーには、予めお申し込みになった方が参加できます。

Memo

大会プログラム 7月25日(木)

	本会場	T&Y	CS
14:00	受付／チェックイン 14:00から		
15:00			
16:00			
		アイスブレイク 16:00-17:00	
17:00	オープニング 17:00-18:00		
18:00			
	夕食 18:15-19:15		
19:00			
	開会礼拝 19:30-20:45 「恐れからの解放、 羊の群れとして生きる」 内村伸之師	セッション1 19:30-20:30 ガウプ・ナタナエル兄	礼拝/分級 /寸劇 19:30-20:45
20:00			
	参加教会紹介 20:45-21:15		
21:00			
		自由参加 お楽しみ会 21:15-22:00	
22:00			

託児室より

・開会礼拝、金土午前の「証言と講演」、金夜の「講演、分かち合

託児室より

- ・開会礼拝、金土午前の「証言と講演」、金夜の「講演、分かち合い」、主日礼拝の時間のみ、P階託児室にてお預かりします。
- ・ご希望の方は、各プログラム開始後15分までにお越しください。希望者がいない場合は、託児室を閉める可能性があります。
- ・必要な場合、お子さまのお飲み物、食べ物、おむつなどをご持参ください。
- ・プログラム終了予定時刻には、必ずお迎えに来てください。

大会プログラム 7月26日(金)

	本大会	T&Y	CS
7:00	早天祈禱会①②③ 7:00-7:45	ラジオ体操 7:40	
8:00	朝食 8:00-9:00		
9:00		スタッフミーティング 8:45-9:15	
10:00	証言と講演 9:15-11:50 証言者：リビウ・モカンさん 中井美鈴さん 講演：井野葉由美師 グループでの分かち合い	セッション2 9:15-10:10 メッセージ：川上寧牧師 トイレ休憩 10分 応答の時間SG 10:20-11:45	礼拝/分級/寸劇 9:15-11:45
11:00			
12:00	昼食 12:00-13:00		
13:00	自由時間 13:15-18:00	自由参加	
14:00	(オプション)	The Turning 福音を伝えよう！ 13:15-15:15	
15:00	市内散策ツアー	恒例スイカ割り 15:30-16:00	
16:00	トゥルヌ・クロイトリロにて 日本文化紹介イベント	デボーションについて &実践 16:00-17:45	
17:00	特別講演 16:45-18:00 村岡崇光師		
18:00	夕食 18:15-19:15		
19:00			
20:00	講演 19:30-21:00 マルチン・マイヤー師 グループでの分かち合い	ムービーナイト 19:30-22:00 テーマ：祈り 証し 渡邊航兄	礼拝/分級/寸劇 19:30-21:00
21:00			
22:00	代表者会議 21:30-22:00	スタッフミーティング 代表者会議	

大会プログラム 7月27日(土)

	本大会	T&Y	CS
7:00	早天祈祷会①②③ 7:00-7:45	ラジオ体操 7:40	
8:00	朝食 8:00-9:00		
9:00		スタッフミーティング 8:45-9:15	
10:00	証言と講演 9:15-11:45 「迫害下のルーマニアの教会」 証言：ゲオルゲ・リッツィシヤン師 ミハイ・フシャン師 講演：服部茂樹師	セッション3 9:15-10:10 メッセージ：浅野康牧師 トイレ休憩 10分 応答の時間 SG 10:20-11:45	礼拝/分級 /寸劇 9:15-11:45
11:00			
12:00	写真撮影 11:50-12:15		
	昼食 12:15-13:00		
13:00	自由時間 13:15-18:00 (オプション) 1.市内散策ツアー 2.岩塩坑ツアー トゥルヌ・クロイトリロにて 日本文化紹介イベント	自由参加 Turnul Croitorilorでの 日本文化紹介イベント 13:15 - 15:15 ルーマニア人の若者と 市内観光 15:30-17:45	
14:00			
15:00			
16:00			
17:00	分科会 17:00-18:00		
18:00	夕食 18:15-19:15		
19:00			
20:00	賛美の夕べ 19:30-21:00 講演 佐々木良子師		
21:00		証しと賛美の時 21:00-22:30	
22:00			

大会プログラム 7月28日(日)

	本大会	T&Y	CS
7:00	早天祈祷会 ①②③7:00-7:45	ラジオ体操 7:40	
8:00	朝食 8:00-9:00		
9:00	チェックアウト 9:00-10:00		
10:00	主日礼拝 10:00-11:15 宣教：安藤里佳子師、安藤廣之師		
11:00	2020年集い紹介 11:15-11:45		
12:00	昼食 12:00-13:00		
13:00	解散 オプションツアー 出発 13:30		

26日(金) 7時 早天祈祷会① (英語通訳) 清水正夫牧師 主会場

26日(金) 7時 早天祈祷会② 清水勝俊牧師 T&Y室

26日(金) 7時 早天祈祷会③ (ドイツ語) 講師：ディーター・ヘーゲレ牧師 CS室

27日(土) 7時 早天祈祷会① 講師：矢吹博牧師 主会場

27日(土) 7時 早天祈祷会② 講師：孫信一牧師 T&Y室

27日(土) 7時 早天祈祷会③ (ドイツ語) 講師：マルチン・マイヤー牧師 CS室

28日(日) 7時 早天祈祷会① 講師：川井勝太郎宣教師 主会場

28日(日) 7時 早天祈祷会② 講師：浅野康牧師 T&Y室

28日(日) 7時 早天祈祷会③ (ドイツ語通訳) 講師：長和男牧師 CS室

Program on July 25(Thursday), 26(Friday)

	25 (Thu.)	26 (Fri.)
7:00	I: Rev. Masao Shimizu~with EN translation, II: Rev. Katsutoshi Shimizu (JP), III: Rev. Dieter Haegele (DE)	7:00-7:45 Morning prayer
8:00		8:00-9:00 Breakfast
9:00		
10:00		9:15 - 11:50 Session 1 Introduction by Liviu Mocan The Relation between the Church in Romania and Japan by Guest Speaker Ms. Misuzu Nakai; Biblical Lecture: Rev. Hayumi Ino The Sharing-Time (17 JP-Groups, 1 EN-Group, and 1 DE-Group)
11:00		
12:00		Lunch 12:00-13:00
13:00		13:15 - 18:00 Free Time
14:00		City Tour; Tour to the Turda-Salt mine (optional; with charge); Exhibition of Japanese Artists in Turnul Croitorilor
15:00	Reception 14:00-	
16:00		
17:00	17:00-18:00 Opening	16:45 - 18:00 Special Biblical Lecture by Prof. Takamitsu Murao (English handout)
18:00		
	18:15-19:15 Dinner	
19:00		
20:00	19:30 - 20:45 ★ Opening Service Rev. Nobuyuki Uchimura	19:30 - 21:00 ★ Before the Sharing-Time Biblical Lecture: Rev. Martin Mayer; The Sharing-Time (17 JP-Groups, 1 EN-Group, and 1 DE-Group)
21:00	20:45 - 21:15 ★ Introduction of Participants (Church)	
22:00		21:30 - 22:30 ★★★ Meeting of Church Representatives

Program on July 27(Saturday), 28(Sunday)

	27 (Sat.)	28 (Sun.)
7:00	7:00-7:45 Morning prayer *	7:00-7:45 Morning prayer**
8:00	8:00-9:00 Breakfast	
9:00	9:15 - 11:45 Session 2	9:00-10:00 Check-Out
10:00	The Church in Romania under the Perfection in the Ceaușescu- Communist Regime by Guest Speakers Rev. Gheorghe Ritisan , Rev. Mihai Husanu ; Biblical Lecture: Rev. Shigeki Hattori	10:00-11:15 Sunday Service Rev. Hiroyuki Ando; Short biblical story for kids: Rev. Rikako Ando
11:00		Lunch 12:00-13:00
12:00		Lunch 12:00-13:00
13:00	13:15 - 18:00 Free Time City Tour; Tour to the Turda-Salt mine (optional; with charge); Exbition of Japanese Artists in Turnul Croitorilor	*Morning Player on 27.07 I: Rev. Hiroshi Yabuki (JP) II: Rev. Son Shinil (JP), III: Rev. Martin Mayer (DE) **Morning Player on 28.07 I: Rev. Katsutaro Kawai (JP) II: Rev. Yasushi Asano (JP) III: Rev. Kazuo Cho with DE translation ★Separate programs for Adults, children and T&Y ★★For all participation ★★★Only representative(2 persons) of church & assembly
14:00		
15:00		
16:00		
17:00		
18:00		
18:15-19:15	Dinner	
19:00	19:30 - 21:00 ★★ Night of Praise Biblical Lecture: Rev. Ryoko Sasaki	
20:00		
21:00		
22:00		

特別講演 「旧約聖書における解放」-要旨-

オランダ日本語聖書教会 村岡崇光師

聖書の世界は階級社会です。旧新約どちらもです。集団の成員は一人の個人あるいは少数の個人に服従します。そういう集団は、村、町、国家、部族、帝国でしょう。家庭、会社であることもあり、夫婦ですらあり得ます。上に立つ人は理解があり、賢明で、優しく寄り添ってくれるような場合もありますが、威張り散らし、残忍で、辛く当たる人もいます。旧約では、下に位置する人を「僕」と呼びます。悪くすると自由意志を剥奪された奴隷です。エジプトにくだったヤコブの子孫は四百年もの間、実質的に歴代のパロの奴隷でした。彼らの呻吟する声を聞き入れて、神は彼らをエジプトの奴隷の家から導き出すことにされました。しかし、聖書では私たちは皆、神様の「僕」であり、神様を「主」と呼びかけます。人類の救い主として予定されていた人も「主の僕」として描かれています（イザヤ53：11）。その方は、現にこの地上にお出でになると、身を低くし、ご自分の「主」に100パーセント服従され、十字架の死まで甘受されました（ピリピ2：8）。

エジプトの奴隷の家からの解放は旧約の教えの中核にあり、十戒の出だしのところで、神ご自身が「君たちをエジプトの奴隷の家から解放した者」と自己紹介しておられます（出エ20：2）。自己矛盾のそしりを免れないかもしれませんが、この神を信じる私たちはこの神様の僕になる自由を与えられている、と言って良いのではないのでしょうか。私たちが絶えず祈り求めているいかなければならないのは、この自由をどのようにして行使するか、ということです。

Liberation in the Old Testament -Summary-

Takamitsu Muraoka

The world of the Bible is a class society. This is true for both Old and New Testaments. All members of a group are subordinate to one individual or a small group of individuals. Such a group can be a village, a city, a tribe, a nation, an empire, even a family, a business organisation, and a married couple. A ruler or a ruling minority can be compassionate, wise, and understanding, but also can be tyrannical, cruel, and oppressive. In the Old Testament someone subordinate is called 'servant.' In the worst case such a servant is a slave with no authority over himself or herself. Descendants of Jacob who went down to Egypt were there 400 years as virtual slaves subordinate to a generation of Pharaohs. Having listened to the cry of their grief God brought them out of the house of bondage or slavery. But in the Bible we are all servants of God, and our God is Lord. Even he who was predicted to be the saviour of the humankind was "the servant of the Lord" (Is 53.11). When He came to live among us, He totally humbled Himself, became 100% obedient to His Lord, putting His life on the line on the cross (Phi. 2.8). The liberation from the bondage of Egypt runs as a very important theme in the whole teaching of the Old Testament. In the preface to the Decalogue God introduces Himself as the liberator of Israel from the bondage of Egypt (Ex 20.2). At the risk of sounding contradictory, I would say that we who believe in this God are free to be His servants. What we need to keep prayerfully asking and find out is how we are going to exercise this freedom.

ルーマニアからの証言者

・中井美鈴さん(26日午前)

アメリカ在住。「地下運動の声」等の著作や宣教団体“殉教者の声”創立者である著名なルーマニア人牧師、リチャード・ウォムブランド師夫妻の世話を最後までした日本人。

・リビウ・モカンさん(26日午前)

近代ルーマニア美術界を代表する彫刻家の一人。代表作の「ショット・ピラー」はクルージュの中心に、革命記念のシンボルとして置かれている。芸術家として聖書信仰に根づいた制作姿勢と作品を数々生み出しながら、卓越したコミュニケーターとして芸術を通して信仰を証している。クルージュ第一バプテスト教会会員

・ゲオルゲ・リッツシャン師(27日午前)

AMPE（ルーマニアペンテコステ教団海外宣教局）局長。革命後のペンテコステ教団神学校第一期の卒業生として、教会の少ないコンスタンツァに牧師として赴任。1997年ルーマニア教会の海外宣教推進のために、牧会を退いて海外宣教局を発足させるために尽力する。現在ではAMPEを通して、70組の宣教師を世界各地に派遣している。

・ミハイ・フシャン師(27日午前)

1956年からクルージュ第一バプテスト教会の牧師として活躍。共産党政権から多くの迫害を受ける。1980年から6年間ルーマニアバプテスト教団の議長を務める。1984年に自らの命を懸けてビリーグラハムを共産党政権下のルーマニアに招待した。

＊リチャード・ウォムブランド

宣教団体Voice of Martyrs（殉教者の声）創設者、共産党政権下のルーマニアでプロテスタント教会の牧師として14年以上の投獄迫害を経験する。1964年に人権団体アムネスティーの尽力で解放され、国外追放になった後、アメリカに拠点を置き世界中の迫害されているキリスト者を支えるために各地で講演などをしながら、「地下教会の声」など数々の著作を残す。

ルーマニアの教会とも生涯にわたって交流を保ちながら、たくさんの方の働きを陰で支えてきた功労者。迫害された信仰者の生々しい証言の声として世界中に知られる彼の存在は、奥さんのサブリーナ姉と共にルーマニアの信仰者たちの間では語り継がれる有名な信仰者である。

分科会案内

27日(土)17-18時に分科会のプログラムがあります。5つの分科会を用意しました。皆様のご参加をお待ちしています。

家庭、神様の臨在の所！ P階 託児室

担当：パク・ジェフン師（エジンバラ日本語教会牧師）

結婚は神様が愛する二人に与える最高のプレゼント。結婚のため準備しなければならないことは、結婚式ではなく、結婚！ 結婚は、全然違う二人の関係の間を愛を持って満たしていく過程。それは、結婚すれば自然に満たされることなく、知恵と奇術が必要なのです。……

ちぎり絵展を教会で M階 T&Y室

担当：森住ゆきさん（ちぎり絵作家）

長年制作した原画を用いて近年取り組み始めた、教会主催の原画展によるオープンチャーチ活動をご紹介します。教会を気軽なカフェとギャラリーにして地域に扉を開く。まだ半ば手探りのこの活動を、神様がより素晴らしいものに練ってくださるように思います。お気軽にご参加ください。

たんぽぽ子育てセミナー P階 主会場後方右側

担当：関谷典子さん（在欧日本人宣教会）

ヨーロッパの街角で、ベビーカーを押している日本人ママに出会いませんか？ 教会にお誘いしたくても、いきなり「礼拝」や「聖書の学び」となると子育て中のママ達にとってハードルが高くなります。「見つけた、子育ての喜び」は、聖書のみことばを土台にして子育てのママ達との日々の分かち合いをするのに有効です。どんなことをする場か、遊びに来てください。

聖書から聖書を学ぶ M階 CS室

担当：矢吹徹師（聖書同盟理事、宇都宮聖書バプテスト教会牧師）

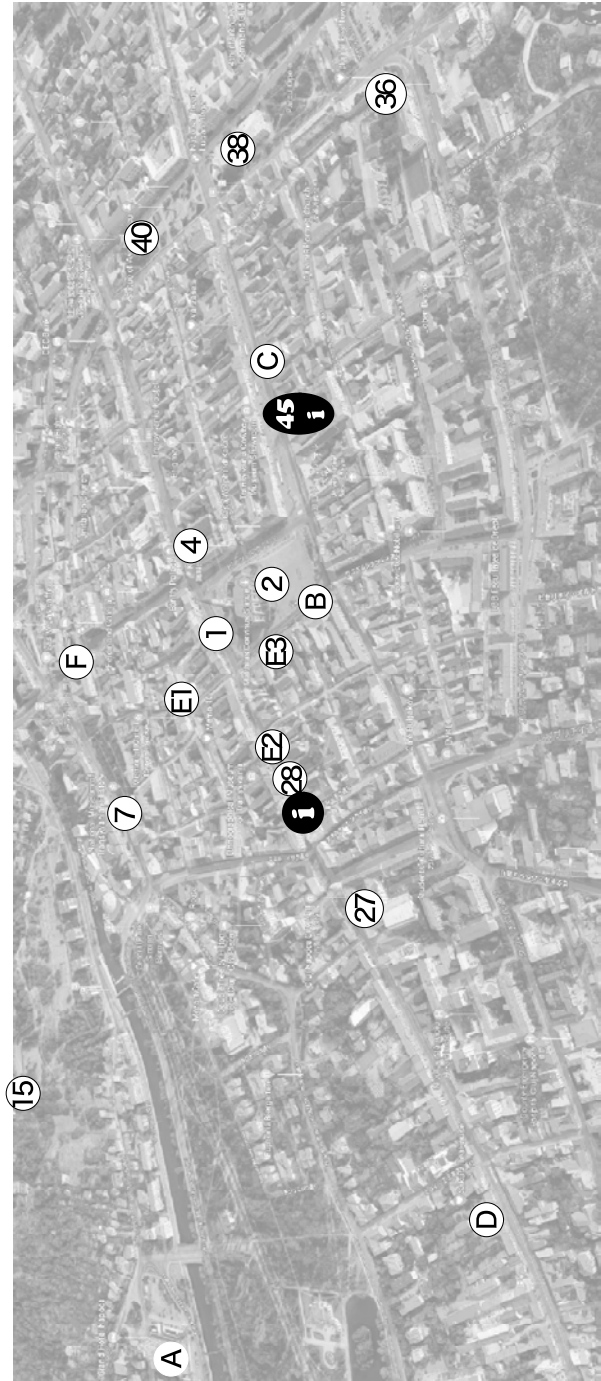
毎日の食事が私たちの生活に欠かせないように、霊の糧であるみことばを摂取することは大切です。聖書同盟が出版している「みことばの光」と「E100」をテキストにして学びます。特に、グループ聖書研究は、無牧の教会、集会が多いヨーロッパでは信仰の成長のためだけでなく、未信の方々を導くためにも有益です。

リターニーは爽やかな風 P階 主会場後方左側

担当：永井敏夫師（在欧日本人宣教会）

日本に戻る方々（リターニー）にスポットを当て、みなさんと時を過ごしたいと思います。リターニーは、日本の教会に気づきやチャレンジを提供する器です。また様々な可能性を持っています。みなさんを愛し、救いに導いてくださっている神さまご自身が、日本の教会に「橋を架けていく」人々としての営みをみなさんと共に歩んでくださいます。You are full of His possibilities.

クルーージェ＝ナボカ市内散策地図



- ① 聖ミハイ教会(工事中入れません)

② マチャーシュ I 世像

④ Bánffy Palace (国立美術館)

⑦ トランシルヴァニア歴史博物館

⑮ Citadel park(眺め良し)

②7 市役所

②8 トランシルバニア民俗学博物館(土産も)

③6 トウルヌ クロイトリロ(日本文化紹介イベント)

③8 国立歌劇場

④0 正教大聖堂 the Metropolitan Orthodox Cathedral

① ンフォメーション

④A ホテルグランドナポカ

③B ショットピラー

③C 正教 変貌教会

④D さくらカフェ

③E1 両替所

③E2 24時間営業スーパー

③E3 Mega Image

ソングシート

26、27、28日朝7時からの早天祈祷会での賛美の時にお使いください。

Amazing Grace

- | | |
|---|-------------------------------|
| 1 Amazing grace! how sweet the sound, | That saved a wretch; like me! |
| I once was lost, but now am found, | Was blind, but now I see. |
| 2 'Twas grace that taught my heart to fear, | And grace my fears relieved; |
| How precious did that grace appear | The hour I first believed! |
| 3 The Lord hath promised good to me, | His word my hope secures; |
| He will my shield and portion be | As long as life endures. |
| 4 When we've been there ten thousand years, | Bright shining as the sun, |
| We've no less days to sing God's praise | Than when we first begun. |

驚くばかりの（聖歌229）

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1 おどろくばかりのめぐみなりき | この身のけがれを 知れるわれに |
| 2 めぐみはわが身のおそれを消し | まかする心を おこさせたり |
| 3 危険をもわなをも避けえたるは | めぐみのみわざと 言うほかなし |
| 4 御国につく朝 いよよ高く | めぐみのみ神を たたえまつらん |

いつくしみ深き（讃美歌312）

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1 いつくしみ深き 友なるイエスは | 罪とが憂いを とり去りたもう |
| こころの嘆きを 包まず述べて | などかは下ろさぬ 負える重荷を |
| 2 いつくしみ深き 友なるイエスは | われらの弱きを 知りて憐れむ |
| 悩みかなしみに 沈めるときも | 祈りにこたえて 慰めたも |
| 3 いつくしみ深き 友なるイエスは | かわらぬ愛もて 導きたもう |
| 世の友われらを 棄て去るときも | 祈りにこたえて 労りたまわん |

静けき祈りの（新聖歌190）

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1 静けき祈りの 時はいと楽し | 悩みある世より われを呼びいだし |
| 父の大前に すべての求めを | 携え至りて つぶさに告げしむ |
| 2 静けき祈りの 時はいと楽し | さ迷い出でたる わが魂を救い |
| 危うき道より 伴い帰りにて | 試むる者の 罠を逃れしむ |
| 3 静けき祈りの 時はいと楽し | そびゆるピスガの 山の高嶺より |
| 故郷眺めて 昇りゆく日まで | 慰めを与え 喜びを満たす |

やすかれ わが心よ（讃美歌298）

- | | |
|--|---------------------------------------|
| 1 安かれ、わが心よ
痛みも苦しみを
主イエスの ともにませば | 主イエスはともにいます
おおしく忍び耐えよ
耐ええぬ悩みはなし |
| 2 安かれ、わが心よ
父なる あまつ神の
み手もて 導きたもう | なみかぜ猛る時も
みむねに委ねまつれ
望みの岸は近し |
| 3 安かれ、わが心よ
み国は やがて来たらん
かがやく み顔仰ぐ | 月日の うつろいなき
憂いは永久に消えて
いのちの幸をぞ受けん |

十字架の陰に（聖歌396）

- | | |
|------------------------------------|----------------------------------|
| 1 十字架のかげに いずみわきて
おらせたまえ この身を主よ | いかなるつみも きよめつくす
十字架のかげに とこしえまで |
| 2 十字架のかげに ゆきしときに
おらせたまえ このみを主よ | みかみのあいを さとりえたり
十字架のかげに とこしえまで |
| 3 十字架のかげを もとめつづけん
おらせたまえ このみを主よ | けわしきさを のぼるときも
十字架のかげに とこしえまで |
| 4 十字架のかげを いかではなれん
おらせたまえ このみを主よ | みくにのかどに いる日までは
十字架のかげに とこしえまで |

いとも尊き主はくだりて（讃美歌191）

- | | |
|--------------------------------------|--------------------------------|
| 1 いとも尊き主はくだりて
きよきすまいを つくりたてて | 血のあたいても民を救い
そのいしずえとなりたまえり |
| 2 四方(よも)の国よりえらばるれど
ひとつのみかて ともに受けて | 望みもひとつ わざもひとつ
ひとりの神をおがみたのむ |
| 3 さわのあらそいみ民をさき
神はたえざる祈りをきき | 世人そしりて なやむれども
なみだにかえて歌をたまわん |
| 4 世に残る民去りし民と
とわのやすきを待ちのぞみて | ともにまじわり、神をあおぎ
君の来ますをせつに祈る |

神の子にますイエス（教会福音讃美歌455）

- 1 神の御子にます イエスのために 罪を敵として 立つはたれぞ
（くりかえし） すべてを捨てて 従いまつらん
わがすべてにます 王なる主イエスよ
- 2 富の楽しみと 地の位に 目もくれずイエスに つくはたれぞ
- 3 罪にとらわれし たましいをば イエスにつれきたる 勇士はたれぞ
- 4 わが持てるものは 主よ汝がもの きよきみ戦（いくさ）に もちいたまえ

あなたに（リビングプレイズ146）

あなたの心の 叫びきかれる 主イエスは
愛の手 ひろげて 今も待っておられる
明日でなく 今主イエスの 御手のなかで やすらごう
十字架で死なれた 主はいのちを あなたに

昔主イエスの（讃美歌21 412）

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1 昔主イエスの 蒔きたまいし | いとも小さき いのちの種 |
| 芽生え育ちて 地の果てまで | その枝を張る 樹とはなりぬ |
| 2 歴史のながれ 旧きものを | 帰らぬ過去へ 押しやる間に |
| 主イエスの建てし 愛の国は | 民より民へ ひろがりゆく |
| 3 時代の風は 吹きたけりて | 思想の波は 騒ぎたてど |
| すべてのものを 越えてすすむ | 主イエスの国は 永久に栄えん |
| 4 父なる神よ、み名によりて | 世界の民を ひとつとなし |
| 地の果てまでも み国とする | 約束を いま果たしたまえ |

主は栄光（リビングプレイズ251）

見えます 輝く光に満ちて 神の右に立つ主 あなたは人のため
見えます 死の力を破り 勝利に輝く主 あなたは祈られる
主は栄光 勝利 力 永久にある救い
主は栄光 勝利 力 永久にある救い
私たちはほめたたえる あなたのみわざを

やすけさは川のごとく (新聖歌252)

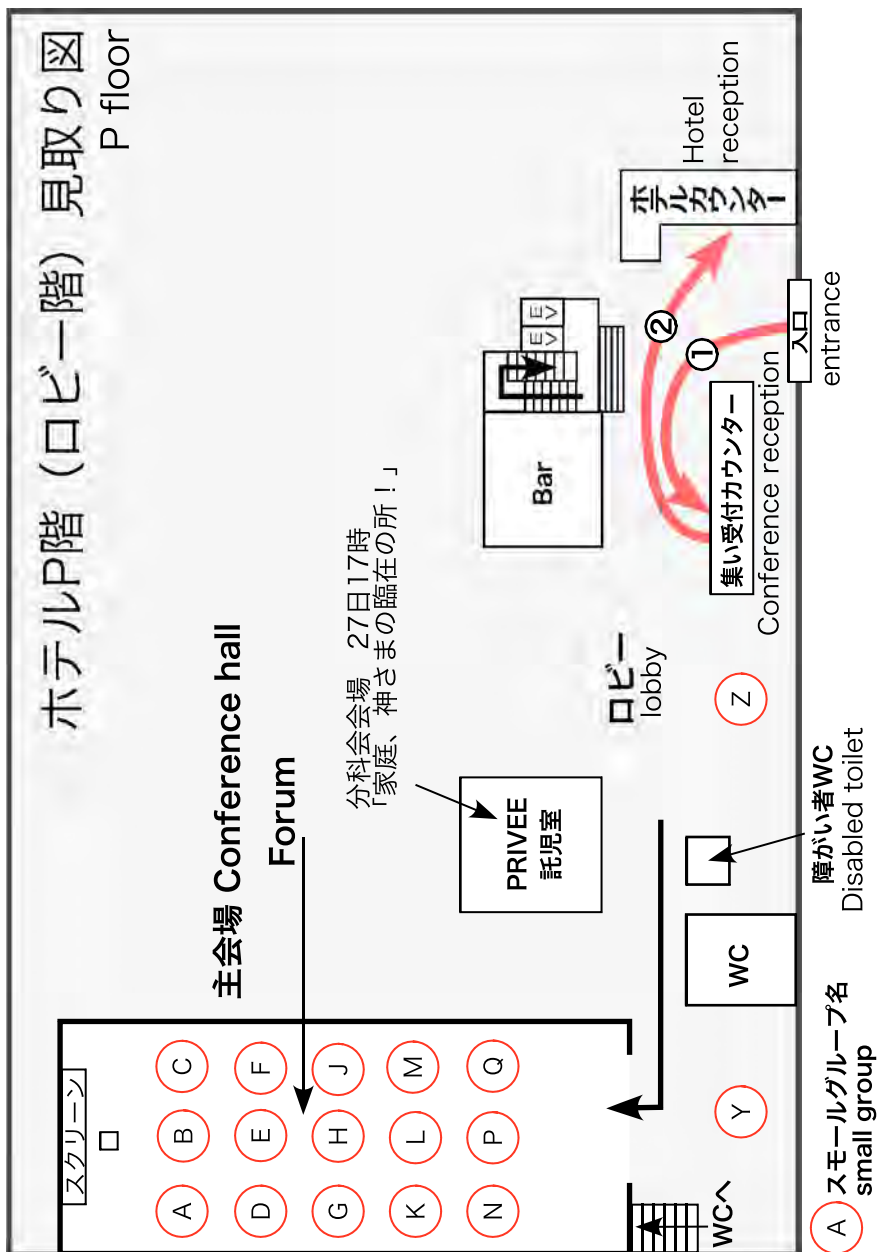
- 1 安けさは川のごとく 心ひたすとき
悲しみは波のごとく 我が胸満たすとき
(くりかえし) すべて 安し 御神共にませば
- 2 悪しき者迫り来とも 試みありとも
御子イエスの血のいさおし ただ頼むわが身は
- 3 見よ我が罪は十字架に 釘づけられたり
この安き この喜び 誰も損ない得じ
- 4 よし天地崩れさり ラッパの音と共に
御子イエス現わるるとも などて恐るべしや

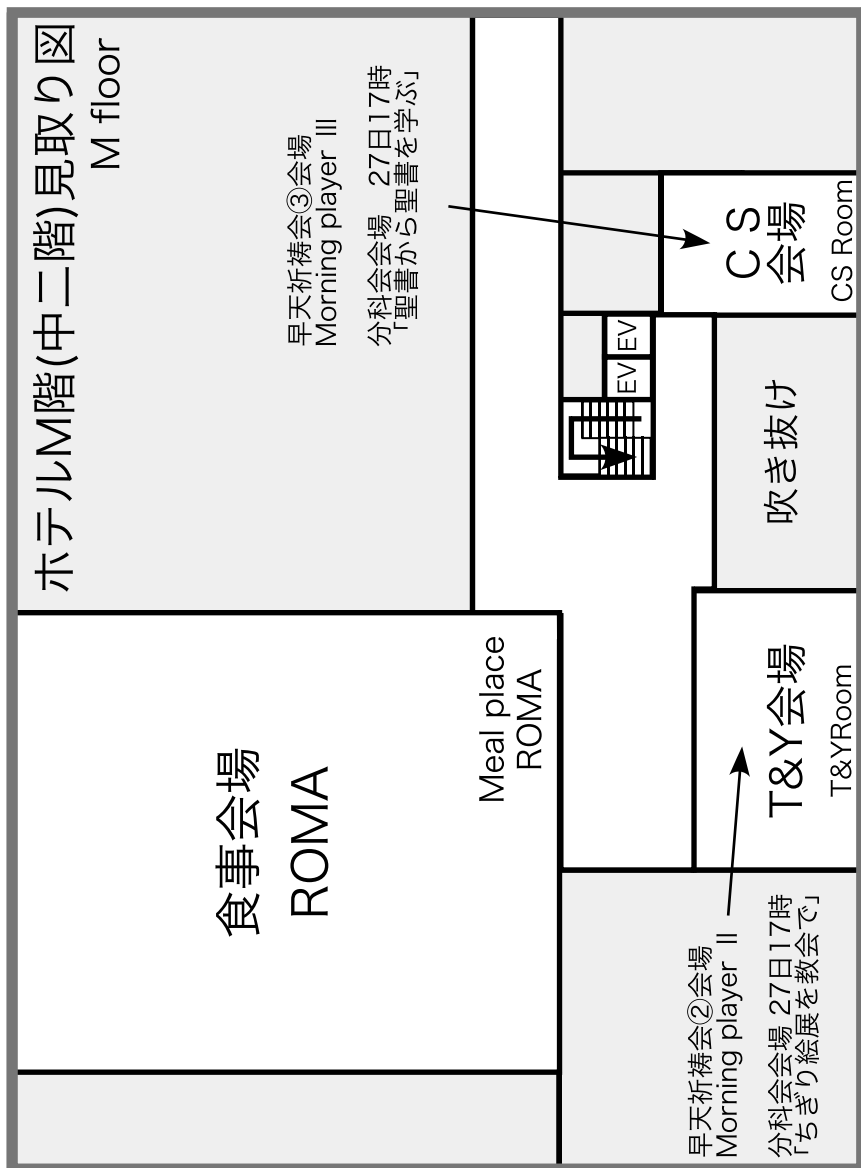
輝く日を仰ぐとき(讃美歌21 226)

- 1 輝く日を仰ぐとき 月星ながむるとき、
雷(いかずち)鳴りわたるとき まことのみ神思う
(くりかえし) たたえよ わがころよ 聖なるみ神を
たたえよ わがころよ 聖なるみ神を
- 2 森にて鳥の音を聞き そびゆる山にのぼり
谷間のきよき流れに まことのみ神おもう
- 3 み神は世びとをあいし ひとりのみ子をくだし
世びとの救いのために 十字架にかけたまえり
- 4 天地つくりし神は ひとをもつくりかえて
ただしくきよきたましい 持つ身とならしめたもう
- 5 まもなく主イエスはきたり われらをむかえたまわん
いかなるよろこびの日ぞ いかなるさかえの日ぞ

Jesus loves me

Jesus loves me, this I know,	For the Bible tells me so;
Little ones to Him belong;	They are weak, but He is strong.
Refrain: Yes, Jesus loves me,	Yes, Jesus loves me,
Yes, Jesus loves me,	The Bible tells me so.
Jesus, take this heart of mine;	Make it pure and wholly Thine.
Thou hast bled and died for me;	I will live henceforth for Thee.
Jesus loves me still today,	Walking with me on my way,
Wanting as a friend to give	Light and love to all who live.





Memo